

# 食を通じた社会貢献



教育随想

太田油脂株式会社  
代表取締役社長  
太田 健介 氏

創業明治三十五年以來、当社では、「個性的」「健康的」な商品とサービスを提供することをモットーにしてきました。今から二十八年前に健康に良いとされるオメガ3脂肪酸（α-リノレン酸）を豊富に含む「えごま」に着目し、日本で初めて食用油として「えごまオイル」を商品化しました。認知度が低かったオメガ3脂肪酸について、お客様にきちんと理解いただき家庭での料理に活用できるように、インターネットでの特設サイトを設けて料理レシピや情報提供、全国各地の料理研究家の方々とのSNSでの情報発信の機会を作っています。

また近年、食品業界においては異物混入や残留農薬の検出など多くの問題が起き、食の安全性が強く問われております。そういった食についての情報を身近に感じていただくために、今年度より、一般の消費者向けの工場見学の受付を、開始いたしました。

若手の女性社員と愛知県内の女子大学生（インターンシップ）で結成された「あぶら部（A・BU・LOVE）」の活動として、工場見学の

アテンド・油の歴史から製造行程・脂質の身体への大切さなどを勉強していただく「オメガ3セミナー」などを開催しており、多くの方から大変好評をいただいております。市内の小学生の生徒を招いての工場見学や教員向けの食にまつわる研修会も行い、商品を見るだけでは伝わらない「ものづくり」「食の大切さ」をリアルに伝えていきます。

最近では、夏休みの親子見学会において「もったいない」活動を体験していただきました。植物油を搾ったあとの油かすを肥料や飼料に活用し、さらに学校給食などからの回収油をバイオディーゼル燃料へ加工し、公共車両やゴミ収集車などの燃料として再利用していることを紹介しました。家庭からの使用済みの回収油からオリジナル石鹸を造ったりもしました。

私達は企業活動を通じて「健康」「食育」「地域の活性化」「社会貢献」をこれからも行っていく予定です。これからを担う若い世代には、こうした取り組みをインターネットなどではなく五感で感じて、自ら考えて行動を起こして社会に発信し、共生して



いくことを大切にしてほしいです。周りの人々に元気を与えられる人となり、日本の未来を元気に明るくしていくってもらいたいと思います。（おおた けんすけ）



平成 27 年 10 月 1 日

## 10 月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想……………	1
太田油脂株式会社 代表取締役社長 太田 健介氏	
この人に聞く……………	2
作曲家・ピアニスト 山中 惇史氏	
羅 針 盤……………	2
南中 校長 栗田万砂夫	
ふれあい……………	3
三島小 浅井 優子	
特 集……………	4
学校ミュージアム ～市内の小中学校にある 市ゆかりの芸術作品(絵画)～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
希望を抱く式 (昭和 49 年)	
この本を……………	8



## 作曲は、覚悟の連続です

作曲家・ピアニスト

山中 惇史 氏

平成二十六年三月六日、翔南中学校で第一回の卒業証書授与式が行われ、完成したばかりの新しい校歌を全校生徒が斉唱した。岡崎市出身の作曲家で、校歌を作曲した山中惇史氏もこの式に参加していた。

「初めて学校を訪問したとき、美しい校舎や校内の様子を見て、すぐに曲の調べが決まりました。卒業式では、全校生徒が素晴らしい歌声で、自分が作った曲を歌っていました。とても感動しました。作曲家としていちばんうれしい瞬間です。」

山中さんがピアノを習い始めたのは七歳の時だった。週に一回、三十分程度の練習だった。

「今、考えると、音楽家になるには到底足りない練習量です。ただ、ぼくは楽譜を読むのが大好きだったので人の百倍は楽譜を読んでいます。」

レッスンの二時間前にはピアノの先生の家に行き、本棚にある楽譜を片っ端から読んだ。

「楽譜に書いてあるただの黒い玉が音になる。最初はその意味がわからないんですが、CDを聴きながらその楽譜を見てみると、どの音が、どこにあるか読めるようになってくるのです。音楽について勉強しなさいと言われたことは全くなくて、知らないことがわかるようになるのが、ただ楽しかったのです。」

作曲家になりたいという夢をもったのは中学一年のときだった。オーケストラ部に入部して、人生で初めて弦楽用に編曲した曲が『涙そうそう』だった。

「書いた楽譜を先生に見せたら、実際に音を出してみようと言われました。先生が印刷して配った楽譜には『編曲・山中惇史』と書いてあったのです。楽譜に写る自分の名前がすごく格好よく見えました。」

中学を卒業すると、作曲家を目指し、専門的な勉強を受けるために、東京にいる作曲家の先生を訪ねた。

「初めて先生に会ったときに、いきなり『作曲家では食っていきませんか』と言われてました。それまでは作曲家というとお金持ちで華やかなイメージでしたが、そう言われて、厳しい世界なんだと覚悟しました。」

現在は、東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻に在学しながら、外部からの依頼で作曲するなど、プロの作曲家としての道を歩んでいる。「作曲するときは必ず体調を崩しま

す。自分を超えたいという壁にぶつかるからです。新しい仕事を頂いたとき、今までのやり方でやれば、曲は必ず完成します。でも、これだとすでに自分のもっている技術やアイデアの中だけで書くから、自分自身は成長しないんです。やり方を変えてみると、新しい道を発見することがある。しかし、新しいものはそう簡単には出てきません。それとは無関係に締切りはどんどん近づいてくる。そのときがいちばん辛い。作曲よりも辛いことは僕の人生にはないです。」

作曲中は、誰にも会わず、眠れない日もあるという。それでも作曲し続ける理由を、山中さんはこう語る。「自分が書いた曲が、演奏されるのを聞いた瞬間に、今までの苦しみが全部なくなってしまうんです。頭の中にあつた音が、現実の音として聴こえてくる。ようやく自分の子供に会えたような感覚に近いかも知れませんね。」

それでも、次の仕事を引き受けるときには、毎回覚悟が必要だと話す。「そこには必ず苦しい道が待っています。作曲は、覚悟の連続です。」



氏名 やまなか あつし  
生年月日 平成二年十月二十三日  
住所 東京都荒川区



## 授業の充実と人間性の拡充を

南中 校長

栗田万砂夫

ベテラン教師の大量退職に伴い、五〇歳代と二〇歳代の二極化が進み、教師の力量の低下が懸念されている。また、価値観も多様化し、保護者の要望も年々厳しいものになってきている。さらに、新しい時代に向けて、何事にも主体的に取り組もうとする意欲や、多様性を尊重する態度、コミュニケーション能力、豊かな感性や優しさ、思いやり等の資質や能力の育成など、学校現場に求められるものはますます増えてきている。

しかし、我々はこれまでも大切にしてきた礼儀正しさ、謙虚さ、温厚さ、勤勉さといった日本人のよさを、自信をもって踏襲した上で、世界で活躍できる資質や能力として、視野の広さ、語彙力、行動力といったものを育んでいけばよいと考える。



## 縄でつながる三十五人の心

三島小 浅井 優子

「三十五人で心を一つに励まし合  
い、どのクラスにも負けずに練習し、  
最後は笑顔で跳び切ります。」

小学校で迎える最後の縄跳び大会  
へ向けて、クラスみんなで決めた合  
言葉だ。負けず嫌いのA子は、人一  
倍やる気に満ちあふれていた。高学  
年になると、いかに縄を速く回すか  
が勝敗の鍵になる。そこで重要な  
は縄の回し手だ。クラスのリーダー  
的な存在であるA子は、すかさず縄  
の回し手に立候補し、休み時間はみ  
んなに声をかけて練習を始めた。  
休み時間の練習は子供たちに任せ  
ようと決めていたが、こっそり様子  
を見に行った。

「早く入ってよ。」  
「もっと速くても跳べるでしょ。」

A子には、勝ちを目指すあまり、  
速いスピードで回さなければならな  
いという焦りがあった。その速さに

ついていけないB男は、いつも引っ  
かかってしまう。そのたびに、心な  
い言葉の標的になった。みんなが決  
めた休み時間の練習が、苦痛の時間  
へと変化していった。そこにはみんな  
で決めた合言葉の姿はなかった。

そんなA子に、必死で頑張るB男  
の気持ちを分からせたい。そう思っ  
た私は大縄が苦手な子たちに、朝の  
休み時間に秘密の特訓をしようと提  
案した。B男は、喜んで練習に参加  
した。すると、最初はなかなかタイ  
ミングのとれなかったB男が、一人  
で縄に入れるまでになった。

授業での練習中、B男が連続で跳  
ぶ姿に驚いたA子は「B男、すごい  
じゃん」と、声をかけた。私はA子  
に向って、B男が朝の休み時間も練  
習していることを告げた。そして、  
「苦手なことに立ち向かっているB  
男はカッコいいね」と付け加えた。  
みんなに迷惑をかけたくない、と頑張  
るB男の気持ちが伝わったかどうか  
は分からないが、A子は黙ってB男  
を見つめていた。

次の日の朝、秘密の特訓で縄を回  
すA子の姿があった。

「いいよ。今のタイミング。」  
「ごめん。回し方が悪かったね。」

A子の温かい言葉が運動場に響い  
た。縄を速く回すことにこだわって  
いたA子が、跳ぶ人に合わせて縄を  
回すようになっていた。

縄跳び大会当日。全員で円陣を組  
み、一人一人の決意を伝え合った。  
その一言一言には、仲間を思いやる  
気持ちがあふれていた。

一回戦は緊張からミスが続いた。  
しかし、誰ひとり、仲間を責める者  
はなかった。

「大丈夫。落ち着いて。ドンマイ。」  
A子は、縄を回しながら一生懸命  
に声をかけた。あつという間の三分  
間を終了した。

いつもより回数が伸びなくて不安  
そうなのに、A子はもう一度円陣  
を組もうと誘った。そして、「掛け声、  
言ってもらえるかな」とB男に笑顔  
で声をかけた。B男はうなずき、嬉  
しそうに叫んだ。

「心は縄で一つにつながってる。」  
みんなもB男の後に続いた。



その中で今後意識して取り組んで  
ほしいことを二つ挙げる。一つは、  
授業の充実に努めてほしい。子ども  
理解の上に立って、「教科のねらい」  
をしっかりとおさえた授業を日々行  
いたい。また、学ぶ意義や有用性、  
学び方も実感させたい。国は今後必要  
となる資質や能力として「何を学ぶ  
か」だけでなく、「どのように学ぶか」  
「何ができるようにするか」を重要  
視している。授業に学習の「見通し」  
と「振り返り」を取り入れていき  
たい。さらに、退職教師や外部の人材  
の力を借りることも考えたい。その  
道のプロのもつ技、心意気にじかに  
触れることで、確かな学びにつな  
がるはずである。

もう一つは、多くの教師が人とし  
ての幅を広げる機会を、たくさんも  
つようにしてほしい。毎日の生活を  
職場と自宅の往復にしないで、たま  
には職場以外の空気を吸うことを勧  
めたい。普段目にしない物を見、触  
れることで、新鮮さを感じ、心のゆ  
とりを取り戻すことができる。また、  
そこで触れ合う人との会話から、学校  
教育に対する社会の目や、社会人と  
して大切にしなければならぬこと  
等も知ることができ、指導の幅が広  
がると思う。ぜひ実践してほしい。



# 学校ミュージアム

## ～市内の小中学校にある市ゆかりの芸術作品（絵画）～

▲成瀬 光男（1935年～）「滝山寺鬼祭り」（油彩・80×100cm・常磐中所蔵）岡崎市（中町）在住 <常磐中>



▲倉光 博之（1911年～2007年）  
「馬」（150×215cm・奥殿小所蔵）  
岡崎市（奥殿町）出身・三州岡崎葵市民



▲畔柳 赫（1912年～2014年）  
「沖縄の風景」（70×105cm・六名小所蔵）  
岡崎市（三ツ木町）出身

### 日本画

市内の小中学校を訪れると、立派な絵画を目にすることがある。しかし、展示されている作品の作者や価値はあまり知られていない。改めて調べてみると、全国的にもよく知られた画家の作品がいくつもある。これらは、学校の記念事業として購入したものや、学校の方から寄贈されたものが多い。それゆえに岡崎市出身、または岡崎市在住の作家の作品であることが多い。

今回は、一部ではあるが、市内の小中学校にある、郷土ゆかりの画家の作品を紹介する。これを機会に、岡崎が誇る著名な画家について理解を深め、郷土に対する誇りを高めてほしい。

#### 各校が所蔵する市ゆかりの主な芸術家作品（絵画）

上原 欽二	「ふたつ」（葵中） 「向日葵ずっしり重く」（根石小） 「草原に並ぶ」「早春の畑」（連尺小）
倉光 博之	「馬」（奥殿小）
畔柳 赫（栄）	「沖縄の風景」（六名小） 「故郷」（六ツ美南部小） 「黒松」「春日」（愛宕小）
清水 幹男	「自立」（大樹寺小）
杉浦 盈二	「叢」（福岡小） 「白い草」（本宿小）
鈴木 坂治	「毘沙門天」（三島小）
鈴木 幸生	「花を摘む少女」（美合小、本宿小） 「花車と蝶」（秦梨小） 「動物園と子どもたち」（羽根小）
中根 寛	「本宿小学校」（本宿小）
成田 環	「二人」（大門小） 「公園」（北中）
成瀬 光男	「滝山寺鬼祭り」（常磐中）
日比野文英	「鳥の詩（翔）」（六名小、本宿小）
和田 青雨	「田舎の家」（葵中）

（五十音順）

洋画



▲上原 欽二 (1915年～2001年)  
「向日葵ずっしり重く」  
(110×90cm・根石小所蔵)  
岡崎市(康生町)出身・三州岡崎葵市民



▲中根 寛 (1925年～ ) 「本宿小学校」(33×45cm・本宿小所蔵)  
岡崎市(夏山町)出身・三州岡崎葵市民



▲日比野文英 (1932年～2007年)  
「鳥の詩(翔)」(170×170cm・六名小所蔵)  
岡崎市(上衣文町)出身



▲清水 幹男 (1935年～ )  
「自立」(194×162cm・大樹寺小所蔵)  
岡崎市(竜泉寺町)出身



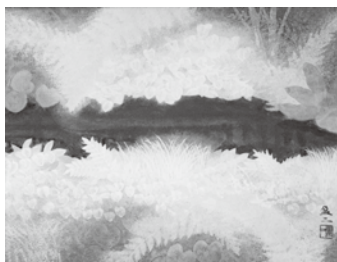
▲鈴木 幸生 (1912年～1986年)  
「花を摘む少女」(162×130cm・美合小所蔵)  
連尺小卒業・岡崎高校の美術講師歴有

紙面に紹介されている絵画を拝見し、近代岡崎の美術の歴史に無くてはならない画伯の御作ばかりで驚きました。作品は画伯らにとつて自分の御子と同じ。美術館の所蔵とは異なり、いつも児童と一緒に仲良く過ごしてほしいというお気持ちもあって、母校や教鞭をとった学校、お住いのある学校などへ贈られたものもあるのでしょうか。美術館でも十年に一度、見られるかどうかの画伯の作品を、いつも間近に見られてうらやましいかぎりです。どうか大切にしてください。

岡崎市美術館副館長 杉山 明美 氏



▲和田 青雨 (1895年～1982年)  
「田舎の家」(180×190cm・葵中所蔵)  
旧岡崎藩士の子・葵中美術教師歴有



▲杉浦 盈二 (1919年～2013年)  
「叢(くさむら)」(44×51cm・福岡小所蔵)  
岡崎市(本宿町)在住



▲成田 環 (1941年～ )  
「二人」(162×120cm・大門小所蔵)  
岡崎市(藪田町)在住



● 教育最新情報

○ 研究発表会・授業研究協議会案内

二学期以降、小学校四校、中学校三校で、研究発表と授業研究協議会が開催される。多くの教員が参加し、日々の授業改善に役立てる機会としてほしい。

〈研究発表会〉

◆ 岡崎市立立男川小学校

十月七日(水)

※市研究委嘱 (H25~27)

文科省研究指定

「ESD」(H26~27)

「社会」(H27~28)

「ESD」の視点に立つ教科学習の展開―相手意識をもって関わり合い、思考・判断・表現できる子供の育成―

教科・領域を合科的に扱った大単元を設定し、つながりを意識した学習活動を展開している。また、「関わり合い」や「振り返り」を重視した授業展開を工夫することで、思



考力・判断力・表現力の育成を目指している。

当日は、授業公開、教科別の研究協議会を行い、文科省視学官の田村学氏に講演をしていただく。

◆ 岡崎市立六ツ美西部小学校

十月十四日(水)

※市研究委嘱 (H25~27)

愛知県健康推進学校特別優秀校

「自己を大切にし、心と体の健康に向け主体的に生きる子供の育成」

各学年で「知・徳・体」の三つの柱で「健康カレンダー」を作成し、意図的・計画的に健康に関する正しい知識や良好な人間関係を身に付けることとや自らの健康課題に前向きに継続して取り組む子供を育てることを目指してきた。

当日は、健康タイム、公開授業、授業を語る会を行い、部会ごとに、愛知教育大学准教授山田浩平氏、教科・領域指導員から助言を受ける。

◆ 岡崎市立矢作中学校

十一月十一日(水)

※市研究委嘱 (H25~27)

「主体的に学び、向上心あふれる矢中生の育成 ―『追究する対象』、『自分』、『他者』とのかかわりを視点として―」

自分で考え、授業や様々な活動を見直し、自分から行動すること、さらによりよいものを追究し、創り上げていくことができる生徒を育てたいと考え、授業や様々な活動を見直し、本研究に取り組んできた。

当日は「心磨きタイム」と授業公開、教科別協議会を行う。

〈授業研究協議会〉

◆ 岡崎市立葵中学校

十月二十日(火)

※市研究委嘱 (H26~28)

「主体的・協働的な学習を軸にした、思考力・判断力・表現力の育成―生徒が学び合い・磨き合う学習を創造するICT活用方法の探究―」

ICTを用いた協働学習の実践開発を進め、主体的・協働的な学習を創造し、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を目指す。

当日は、全教科の公開授業を行い、教科別研究協議会を行う。

◆ 岡崎市立本宿小学校

十月三十日(金)

「生きる力を育む小学校英語の創造2015―英語が話せる本宿っ子をめざして―」

英語に慣れ親しみ、自ら積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする姿を追究して継続発表の五年目を迎えた。本年度は、主体的な学びを追究し、子供が自主的に学んだ表現を使う姿をめざす。

当日は、Eタイム(DVD視聴)と英語活動の授業公開、東海中のGCT(グローバルコミュニケーションタイム)の公開、授業を語る会、文科省調査官直山木綿子氏の講演を行う。

◆ 岡崎市立竜海中学校

十一月十八日(水)

「チャレンジ 竜海式アクティブ・ラーニング―コミュニケーションを取り入れた教科学習を中心に―」

生徒が主体的に学習に取り組むアクティブ・ラーニングを研究主題にすえ「考えを構築する段階」「関わり導き出す段階」「応用・発展する段階」を位置づけた単元構想を行う。また授業後の時間帯にCMT(コミュニケーション・ミドル・タイム)を設け、生

徒のコミュニケーション能力の育成も図っていく。

当日は、授業公開、CMT公開を行った後、各教科別の協議会を行う。

◆ 岡崎市立連尺小学校

二月十日(水)

「ESDの視点に立ち、算数を楽しむ子供を育む岡崎・連尺教育―コミュニケーション能力を思考力・実践力へ―」

算数の教科書を中心とした四十五分の授業による問題解決学習『岡崎・連尺モデルⅢ』を展開する。子供の個を生かし、思考力を深め、実践力を引き出す授業を提案する。

当日は、全校級で授業公開、授業協議会、文科省調査官笠井健一氏の講演を行う。

● 表彰

◆ 平成27年全国中学校体育大会

○ 男子ソフトテニス(団体)

ベスト16

○ ソフトボール

出場

○ 男子バレーボール

出場

○ 陸上(個人)

・ 女子800M

・ 女子1500M

出場 矢作中 細井裕菜  
出場 矢作中 細井裕菜

- ・女子100MH  
出場 竜南中 山本 遼
- ・女子100M  
出場 城北中 高須鮎香
- ・男子3000M  
出場 甲山中 伊藤伶真
- ・男子1500M  
出場 甲山中 伊藤伶真
- ・女子柔道(個人)  
48kg級  
ベスト16 南中 堂崎月華
- 女子卓球(個人)  
出場 矢作中 杉浦彩月
- 男子剣道(個人)  
出場 額田中 大串快晴
- 男子相撲(個人)  
出場 竜海中 上條深能
- ◆第37回東海中学校総合体育大会
- ソフトボール  
優勝 城北中(全国大会出場)
- 男子バレーボール  
3位 竜南中(全国大会出場)
- 男子ソフトテニス(団体)  
3位 矢作中(全国大会出場)
- 男子剣道(団体)  
3位 額田中
- 陸上(個人)  
・女子800M 優勝 矢作中 細井鈴菜  
・女子4×100MR  
2位 甲山中  
・女子2年100M  
2位 城北中 高須鮎香  
4位 甲山中 永井絵理香
- ・女子低4×100MR  
4位 岩津中
- ・女子100MH  
4位 竜南中 山本 遼
- ・男子3000M  
2位 甲山中 伊藤伶真
- ・男子800M  
3位 岩津中 天野晴哉
- ・男子1年1500M  
3位 翔南中 後藤謙昌
- ・男子1年100M  
4位 東海中 深瀬京佑
- 柔道(個人)  
・女子48kg級 優勝 南中 堂崎月華  
(全国大会出場)
- ・男子60kg級  
2位 東海中 竹市大祐
- 剣道(個人)  
・男子 優勝 額田中 大串快晴  
(全国大会出場)
- 相撲(個人)  
・男子 3位 竜海中 上條深能  
(全国大会出場)
- 卓球(個人)  
・女子 ベスト8 矢作中 杉浦彩月  
(全国大会出場)
- 水泳(個人)  
・男子200M平泳ぎ  
3位 矢作北中 永井 豪  
・男子100M平泳ぎ  
4位 竜海中 漆山 真

- ◆第69回愛知県中学校総合体育大会
- 男子ソフトテニス  
優勝 矢作中
- 男子バレーボール  
優勝 北中
- 陸上(団体)  
優勝 甲山中
- ソフトボール  
2位 城北中
- 女子柔道(団体)  
3位 矢作北中
- 女子柔道(個人)  
3位 甲山中
- 陸上(個人)  
・女子800M 優勝 矢作中 細井鈴菜  
・女子100MH 優勝 竜南中 山本 遼  
・女子砲丸投 優勝 竜南中 高井萌萌香
- 水泳  
・男子200M平泳ぎ  
優勝 城北中 高須鮎香  
3位 矢作中 大久保春香  
・女子4×100MR  
2位 甲山中 山口 永井 田中 小緑  
3位 城北中 石田 三浦 沼沢 高須
- ・女子低4×100MR  
2位 岩津中 小船 九里 馬場 高橋
- ・女子1年100M  
3位 甲山中 谷口琴音
- ・男子1年100M

- 優勝 東海中 深瀬京佑
- ・男子3000M  
2位 甲山中 伊藤伶真
- ・男子800M  
3位 岩津中 天野晴哉
- ・男子走高跳  
3位 竜南中 木田大晴
- ・男子1年1500M  
3位 翔南中 後藤謙昌
- 剣道(個人)  
・男子 優勝 額田中 大串快晴
- 柔道  
・女子48kg級 優勝 南中 堂崎月華  
・男子60kg級  
2位 東海中 竹市大祐
- 相撲  
・男子 2位 竜海中 上條深能
- 水泳  
・男子200M平泳ぎ  
3位 矢作北中 永井 豪  
5位 矢作北中 安井颯翼  
・男子200M個人メドレー  
7位 六ツ美北中 仲平千尋
- ◆平成27年度愛知県ジュニア  
アーチェリー大会  
・中学女子30M 優勝 東海中 佐野陽菜
- ◆第12回全国小学生学年別柔道大会  
・小学5年生男子 45kg級  
3位 本宿小 竹市裕亮
- ◆ジュニアオリンピックカップ  
第8回全日本ジュニアテコン

- ◆D1選手権大会  
・小学6年生女子  
3位 矢作北小 森本理子
- ・中学生女子41kg以下級  
3位 翔南中 日和舞桜
- ・中学生女子44kg以下級  
2位 北中 鈴木佐和衣
- ・中学生女子49kg以下級  
2位 北中 山本さくら
- ◆愛知県ジュニアオリンピック大会(全国大会出場)  
・A女子100MYH 優勝 竜南中3年 山本 遼  
・B女子100M 優勝 城北中2年 高須鮎香  
・C男子走り幅跳び 優勝 河合中1年 浅井夏輝
- ◆NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロック大会  
・小学校の部 金賞 梅園小  
(全国大会出場)
- ◆CBCジュモ音楽コンクール(中部決勝大会出場)  
・小学校声楽部門(合唱) 優秀賞 梅園小  
・小学校声楽部門(重唱) 優秀賞 大門小  
・中学校声楽部門(合唱) 優秀賞 竜海中  
・中学校声楽部門(重唱) 優秀賞 竜海中A  
・中学校声楽部門(重唱) 優秀賞 竜海中A
- ◆第50回交通安全子ども自転車愛知県大会  
準優勝(団体) 竜美丘小

・カ  
ツ  
ト  
矢作北中 中山 広見

### 希望を抱く式 (昭和49年)

写真提供：矢作北小学校

昭和四十八年十一月に行われた開校百周年記念事業の一つとして、「希望の塔」が東門横に建立され、合わせて「希望を抱く式」が行われた。それ以後、毎年四月に「希望を抱く会」、三月には「希望を振り返る会」が行われ、そこで子供たちは一年間の自分の成長を実感している。

市内の中学校では、二年生において「立志の式」を行っている学校も多い。これらの行事を通して、希望や目標を持つことや、それに向かって努力することの大切さを学ばせている。

現在、成人年齢を十八歳に引き下げようとする議論がなされている。子供たちの精神的な成長を促すためにも、こうした行事のもつ意味は大きい。



時を忘れて制作に没頭する生徒たち。授業の終了を告げるチャイムが鳴ると「え、もう終わり」「次も美術がいい」。そんな声などのクラスでも聞こえてくる。おかざき子展までの授業があと二時間、一時間…。完成を目指してラストスパートをかける。

この時期の美術室は慌ただしくも緊張感があり、誰もが皆、芸術家になる。

## と ホ ツ

## 神無月



おかざき子展 (H26)

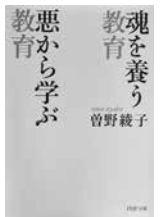
保育園ではお昼寝の時間になると、決まってチャイコフスキーのピアノコンチェルトが流れていた。園長先生のお気に入りだった。

当時、三才の山中惇史さんは、その音楽を眠らずにずっと耳を澄ましていたという。

子供たちはいつ、どこで、何に出会おうかわからない。小さな出会いが、人生を大きく動かすこともある。

つかんだ友の肩からじわじわと力が伝わってくる。組んだ陣陣から、互いを思いやる言葉が聞こえてきた。「引っかからないように頑張るよ」「必ず跳べるように回すからね」。

全員の心が一つになったとき、実力以上のものが発揮できる。それが団結力だ。担任である限り、クラスの団結力を高めることにこだわり続けたい。



\*魂を養う教育 悪から学ぶ教育 曾野 綾子  
PHP文庫 ￥640

心に残った一文  
自分の教育に責任があるのは、まず自分であり、最終的に自分である。

教育再生実行会議有識者のメンバーを務めた氏は、日本の教育に高い関心をもつ。とりわけ、戦後の教育は「失敗」と断じて、社会で見られるさまざまな事例を挙げて辛口に批評する。

自分の子供を躱げられない親、叱ることに臆病になってしまった教師、「人は自由で平等」であることを勘違いしている社会。その中で、子供たちは自らを律する力をも身につけないまま成長する。

教師として、また一人の社会人として、自らの生き方を考え直させてくれる一冊である。

\*科学の危機 金森 修 ￥760  
集英社新書  
\*虫の虫 養老 孟司 ￥1,500  
廣済堂出版  
\*里海資本論 井上恭介・NHK「里海」取材班 ￥800  
角川新書

河合中 宇都宮森和